

# 2017年第3四半期 連結決算概要 (IFRS)

中外製薬株式会社  
執行役員 財務経理部長  
板垣 利明

2017.10.25



## 将来見通し

本プレゼンテーションには、中外製薬の事業及び展望に関する将来見通しが含まれていますが、いずれも、既存の情報や様々な動向についての中外製薬による現時点での分析を反映しています。

実際の業績は、事業に及ぼすリスクや不確定な事柄により現在の見通しと異なることもあります。

注:

- ・ 本資料の数値は億円未満を四捨五入して表示。増減、%は億円単位で表示された数字で計算
- ・ 2017年第2四半期決算より、本資料の増減金額の表記を以下の通り変更しています。
  - ① マイナス表記を「▲」から「△」に変更
  - ② 収益及び原価・費用の増減は、増益方向を「+」、減益方向を「△」で表示
  - ③ 増減率は金額の「増」「減」をそれぞれ「+」「△」で表示



# 2017年第3四半期 連結決算概要

## ■ 売上収益 3,876億円(前年同期比 +261億円,+7.2%)

- 国内製商品(タミフルを除く):薬価改定影響を上回る主力品の伸長 (同 +38億円, +1.4%)
- 海外製商品:アレセンサのロシュ向け輸出の増加等 (同 +120億円, +19.4%)
- ロイヤルティ及びその他の営業収入:マイルストーン収入の増加 (同 +89億円, +63.6%)

## ■ 原価・経費(Coreベース)

- 売上原価:製品別売上構成比の変化等により製商品原価率が改善  
(同  $\Delta 1.8\%$ ポイント:52.7%→50.9%)
- 経費:研究開発費及び一般管理費等の増加を主要因とし、経費全体で増加  
(同  $\Delta 44$ 億円, +3.7%)

## ■ 損益

- |           |       |         |             |         |
|-----------|-------|---------|-------------|---------|
| ● IFRS実績: | 営業利益  | 762億円   | (同 +176億円,  | +30.0%) |
|           | 四半期利益 | 579億円   | (同 +142億円,  | +32.5%) |
| ● Core実績: | 営業利益  | 787億円   | (同 +191億円,  | +32.0%) |
|           | 四半期利益 | 597億円   | (同 +154億円,  | +34.8%) |
|           | EPS   | 107.80円 | (同 +27.87円, | +34.9%) |

2017年第3四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



# IFRS実績及びCore実績 1-9月実績

【億円】	IFRS実績	Non-Core調整		Core実績
	2017年 1-9月	無形資産	その他	2017年 1-9月
売上収益	3,876			3,876
製商品売上高	3,648			3,648
ロイヤルティ及び その他の営業収入	229			229
売上原価	△ 1,865	+9		△ 1,856
売上総利益	2,011	+9		2,021
経費計	△ 1,249	+25	△ 10	△ 1,234
販売費	△ 492			△ 492
研究開発費	△ 657	+25		△ 632
一般管理費等	△ 100		△ 10	△ 110
営業利益	762	+34	△ 10	787
金融費用	△ 1			△ 1
その他の金融収入(支出)	△ 2			△ 2
その他の費用	△ 11			△ 11
税引前四半期利益	749	+34	△ 10	773
法人所得税	△ 170	△ 9	+3	△ 176
四半期利益	579	+25	△ 7	597
当社の株主持分	572	+25	△ 7	590
非支配持分	7			7

## 【Non-Core調整】

●無形資産  
償却費 : +9億円  
減損損失 : +25億円

●その他  
訴訟関連損益: △10億円

## Core四半期利益の帰属

当社の株主持分 590 億円 ①

## 希薄化効果後

加重平均普通株式数 547 百万株 ②

Core EPS 107.80 円 ①/②

前年同期比 Core

2017年第3四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



# 損益の概要 1-9月実績

【億円】	2016年1-9月		2017年1-9月		増減	
	対売上収益		対売上収益			
売上収益	3,615		3,876		+261	+7.2%
製商品売上高	3,475		3,648		+173	+5.0%
タミフルを除く	3,391		3,548		+157	+4.6%
国内	2,772		2,810		+38	+1.4%
ロシュ向け輸出	492		606		+114	+23.2%
その他海外	126		132		+6	+4.8%
タミフル	84		100		+16	+19.0%
通常	73		63		△10	△13.7%
行政備蓄等	12		37		+25	+208.3%
ロイヤルティ及び その他の営業収入	140		229		+89	+63.6%
売上原価	△ 1,830	50.6%	△ 1,856	47.9%	△26	+1.4%
売上総利益	1,786	49.4%	2,021	52.1%	+235	+13.2%
経費計	△ 1,190	32.9%	△ 1,234	31.8%	△44	+3.7%
営業利益	596	16.5%	787	20.3%	+191	+32.0%
金融費用	△ 1		△ 1		0	0.0%
その他の金融収入(支出)	5		△ 2		△7	-
その他の費用	-		△ 11		△11	-
法人所得税	△ 157		△ 176		△19	+12.1%
四半期利益	443	12.3%	597	15.4%	+154	+34.8%
EPS (円)	79.93		107.80		+27.87	+34.9%

## 【主な増減】

- ロイヤルティ及びその他の営業収入 +89億円  
マイルストーン収入の増加
- その他の金融収入(支出) △7億円  
為替差損益 △25億円  
デリバティブ(為替予約)損益 +19億円
- その他の費用 △11億円  
移転価格税制調整金

## 製商品原価率

2016年1-9月	2017年1-9月
52.7%	50.9%

## 期中市場平均レート

	2016年 1-9月	2017年 1-9月
1CHF	110.88円	113.73円
1EUR	121.28円	124.33円
1USD	108.68円	111.92円
1SGD	79.25円	80.52円

前年同期比

2017年第3四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために

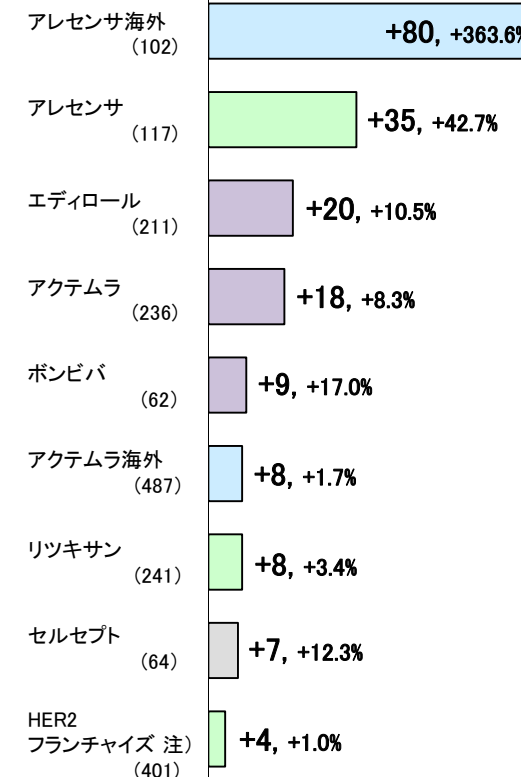
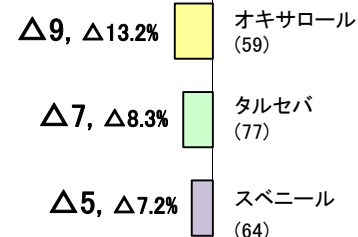
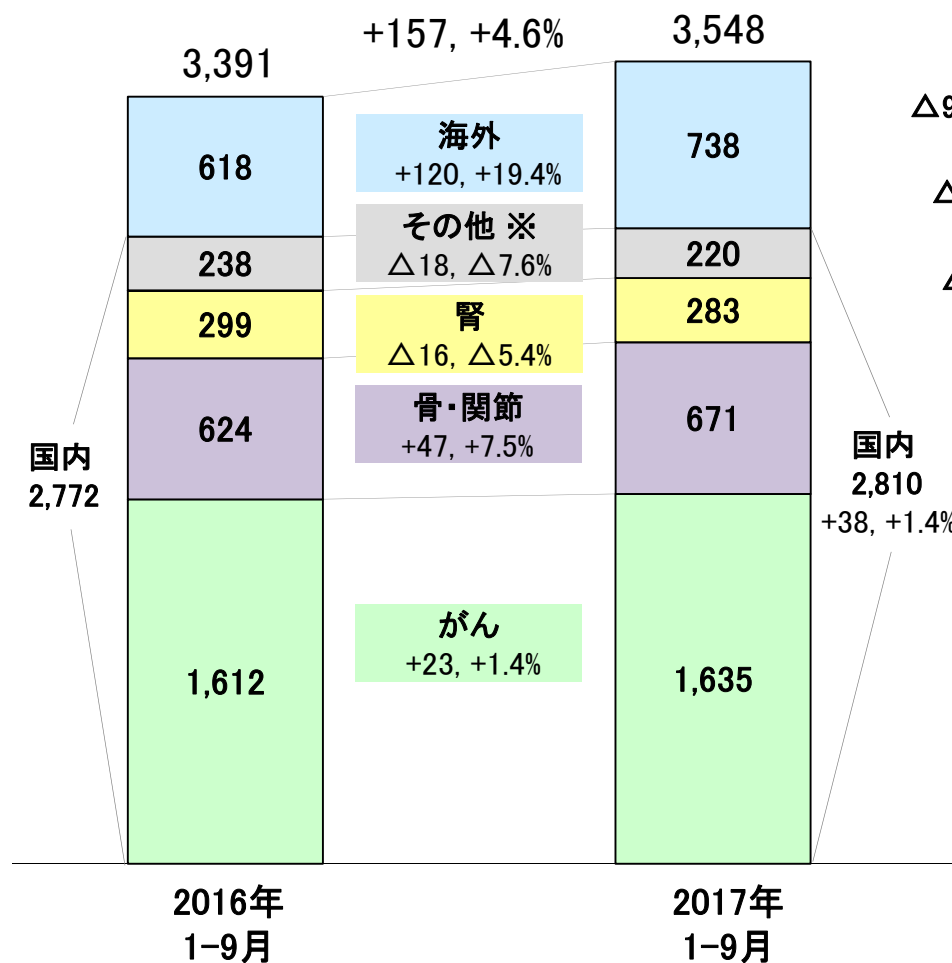


# 製商品売上高(タミフルを除く)の増減内訳 1-9月実績

【億円】

領域別売上高の比較

主な製商品売上高の増減



注) HER2フランチャイズ内訳

ハーセプチン (246)	△4	△1.6%
パージェタ (98)	+12	+14.0%
カドサイラ (58)	△3	△4.9%

( )内は2017年実績  
%は増減率

※2016年12月期まで個別に開示しておりました「移植・免疫・感染症」領域につきましては、  
2017年第1四半期より「その他」領域に含めて開示しております。

2017年第3四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



# タミフル売上高の推移

【億円】	決算期											
	2012年		2013年		2014年		2015年		2016年		2017年	
	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-12月	1-6月	7-9月
通常	78											
		24	82									
				19	70							
						58	67					
								15	73			
										47	63	
												0
	<b>102</b>	<b>(+48)</b>	<b>101</b>	<b>(Δ1)</b>	<b>129</b>	<b>(+28)</b>	<b>82</b>	<b>(Δ47)</b>	<b>120</b>	<b>(+38)</b>	<b>63</b>	<b>(Δ10)※</b>
行政 備蓄等	4	15	8	1	1	1	0	0	0	15	19	18
	<b>19</b>	<b>(Δ14)</b>	<b>9</b>	<b>(Δ10)</b>	<b>2</b>	<b>(Δ7)</b>	<b>0</b>	<b>(Δ2)</b>	<b>15</b>	<b>(+15)</b>	<b>37</b>	<b>(+25)※</b>
合計	<b>81</b>	<b>39</b>	<b>90</b>	<b>20</b>	<b>71</b>	<b>59</b>	<b>67</b>	<b>15</b>	<b>73</b>	<b>62</b>	<b>82</b>	<b>19</b>
	<b>120</b>	<b>(+33)</b>	<b>110</b>	<b>(Δ10)</b>	<b>130</b>	<b>(+20)</b>	<b>82</b>	<b>(Δ48)</b>	<b>135</b>	<b>(+53)</b>	<b>100</b>	<b>(+16)※</b>

シーズン  
(当年下期～翌年上期)

2011年	<b>91</b>
2012年	<b>106</b>
2013年	<b>90</b>
2014年	<b>126</b>
2015年	<b>87</b>
2016年	<b>110</b>

( )内は前期比

【※ 前年1-9月対比】

前年同期比 Core

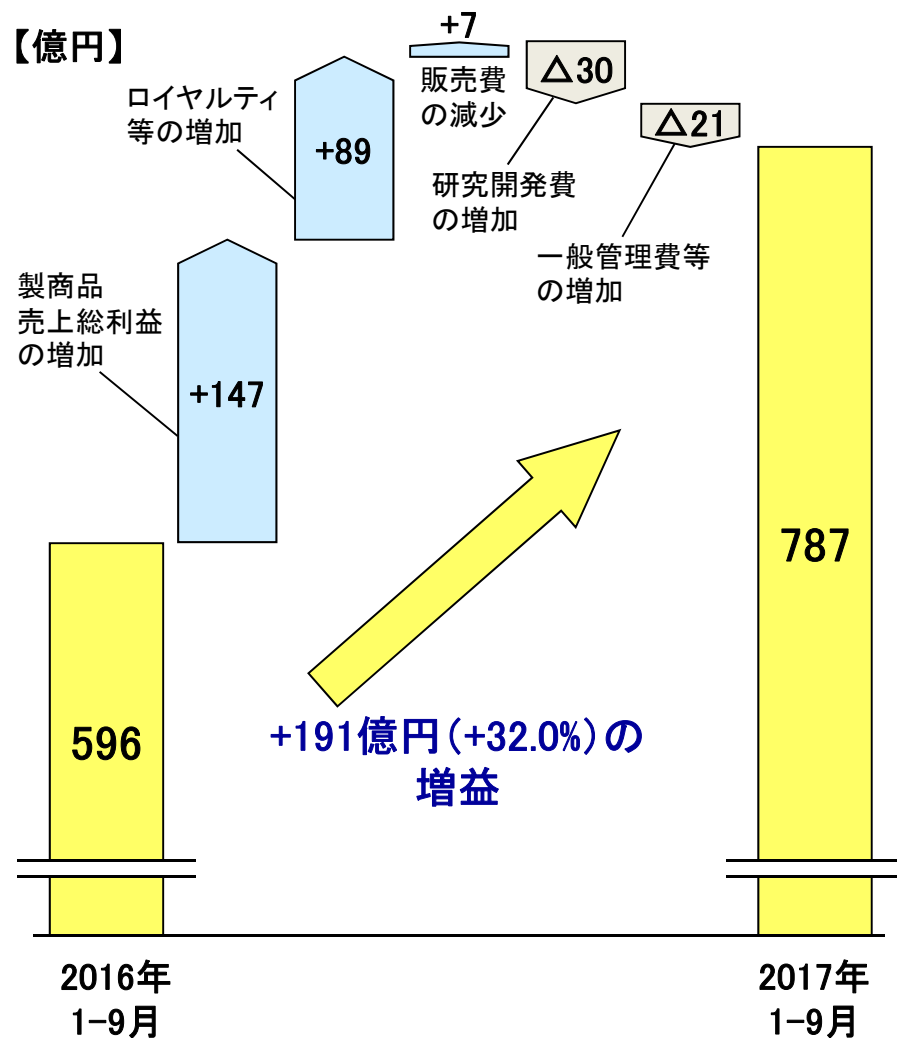
2017年第3四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュ グループ

# 営業利益の増減内訳 1-9月実績



【億円】	2016年 1-9月	2017年 1-9月	増減
売上収益	3,615	3,876	+261
売上原価	$\Delta 1,830$	$\Delta 1,856$	$\Delta 26$
売上総利益	1,786	2,021	+235
うち製商品	1,645	1,792	+147
ロイヤルティ等	140	229	+89
販売費	$\Delta 499$	$\Delta 492$	+7
研究開発費	$\Delta 602$	$\Delta 632$	$\Delta 30$
一般管理費等	$\Delta 89$	$\Delta 110$	$\Delta 21$
営業利益	596	787	+191

- 製商品売上総利益の増加 +147億円  
ロシュ向け輸出の増加や、製品別売上構成比の変化等による製商品原価率の改善
- ロイヤルティ及びその他の営業収入の増加 +89億円
- 販売費の減少 +7億円  
組織改正に伴う費用区分の変更等
- 研究開発費の増加  $\Delta 30$ 億円  
開発テーマの進展や、組織改正に伴う費用区分の変更等
- 一般管理費等の増加  $\Delta 21$ 億円  
法人事業税(外形標準課税)を含む諸経費の増加



前年同期比 Core

2017年第3四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



# 損益の概要 7-9月実績

【億円】	2016年7-9月		2017年7-9月		増減	
	対売上収益		対売上収益			
売上収益	1,140		1,349		+209	+18.3%
製商品売上高	1,102		1,279		+177	+16.1%
タミフルを除く	1,091		1,261		+170	+15.6%
国内	930		979		+49	+5.3%
ロシュ向け輸出	118		237		+119	+100.8%
その他海外	43		44		+1	+2.3%
タミフル	11		19		+8	+72.7%
通常	△ 0		0		0	-
行政備蓄等	12		18		+6	+50.0%
ロイヤルティ及び その他の営業収入	38		69		+31	+81.6%
売上原価	△ 585	51.3%	△ 648	48.0%	△ 63	+10.8%
売上総利益	555	48.7%	701	52.0%	+146	+26.3%
経費計	△ 400	35.1%	△ 417	30.9%	△ 17	+4.3%
営業利益	154	13.5%	285	21.1%	+131	+85.1%
金融費用	△ 0		△ 0		0	0.0%
その他の金融収入(支出)	2		0		△ 2	△100.0%
その他の費用	-		△ 7		△ 7	-
法人所得税	△ 37		△ 69		△ 32	+86.5%
四半期利益	119	10.4%	209	15.5%	+90	+75.6%
EPS (円)	21.49		37.70		+16.21	+75.4%

## 【主な増減】

- 製商品売上総利益の増加 +115億円  
ロシュ向け輸出の増加及び製商品  
原価率の改善
- ロイヤルティ及びその他の営業収入の増加 +31億円  
マイルストーン収入の増加
- 経費計の増加 △17億円  
販売費の増加 △2億円  
研究開発費の増加 △7億円  
開発テーマの進展等
- 一般管理費等の増加 △8億円  
諸経費の増加

## 製商品原価率

2016年7-9月	2017年7-9月
53.1 %	50.7%

## 期中市場平均レート

	2016年 7-9月	2017年 7-9月
1CHF	104.97円	115.33円
1EUR	114.31円	130.36円
1USD	102.44円	111.01円
1SGD	75.75円	81.57円

予想比 Core

2017年第3四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



# 損益の進捗 1-9月実績

【億円】	実績		期初公表	2016年 進捗率 *
	2017年 1-9月	2017年 1-12月	進捗率	
売上収益	3,876	5,205	74.5%	73.5%
製商品売上高	3,648	4,904	74.4%	73.5%
タミフルを除く	3,548	4,822	73.6%	73.8%
国内	2,810	3,939	71.3%	73.0%
ロシュ向け輸出	606	674	89.9%	78.3%
その他海外	132	209	63.2%	75.0%
タミフル	100	82	122.0%	62.2%
ロイヤルティ及び その他の営業収入	229	300	76.3%	73.3%
売上原価	△ 1,856	△ 2,520	73.7%	74.2%
売上総利益	2,021	2,685	75.3%	72.9%
経費計	△ 1,234	△ 1,765	69.9%	72.3%
営業利益	787	920	85.5%	73.9%
EPS (円)	107.80	124.11	86.9%	78.0%

## 製商品原価率

2017年1-9月 実績	2017年1-12月 期初公表
50.9%	51.4%

## 為替レート(円)

	2017年 1-9月実績*	2017年 期初想定
1CHF	113.73円	106.00円
1EUR	124.33円	122.00円
1USD	111.92円	115.00円
1SGD	80.52円	80.00円

\*実績は期中市場平均

\* 1-9月実績の通期実績に対する進捗率

## 予想比 Core

2017年第3四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



## 製商品売上高の進捗（タミフルを除く） 1-9月実績

【億円】	実績		期初公表 進捗率	2016年 進捗率 *
	2017年 1-9月	2017年 1-12月		
タミフルを除く製商品売上高	3,548	4,822	73.6%	73.8%
国内	2,810	3,939	71.3%	73.0%
がん領域	1,635	2,300	71.1%	73.2%
アバスタチン	676	927	72.9%	73.6%
HER2フランチイズ	401	575	69.7%	73.2%
ハーセプチン	246	351	70.1%	73.3%
パージェタ	98	129	76.0%	72.3%
カドサイラ	58	94	61.7%	73.5%
リツキサン	241	340	70.9%	72.6%
アレセンサ	117	159	73.6%	68.9%
ゼローダ	89	137	65.0%	74.0%
タルセバ	77	113	68.1%	73.0%
ゼルボラフ	1	4	25.0%	75.0%
骨・関節領域	671	945	71.0%	72.5%
アクテムラ	236	323	73.1%	72.2%
エディロール	211	295	71.5%	71.5%
ボンビバ	62	92	67.4%	72.6%
スベニール	64	92	69.6%	74.2%

【億円】	実績		期初公表 進捗率	2016年 進捗率 *
	2017年 1-9月	2017年 1-12月		
腎領域	283	390	72.6%	72.7%
ミルセラ	172	250	68.8%	71.5%
オキサロール	59	68	86.8%	74.7%
その他領域	220	303	72.6%	73.9%
セルセプト	64	90	71.1%	72.2%
海外	738	884	83.5%	77.7%
アクテムラ	487	594	82.0%	79.4%
うちロシュ向け輸出	476	580	82.1%	79.5%
ノイトロジン	92	116	79.3%	77.9%
アレセンサ	102	95	107.4%	59.5%
うちロシュ向け輸出	102	95	107.4%	59.5%

\* 1-9月実績の通期実績に対する進捗率

予想比 Core

## 為替変動の影響

	2017年1-9月 想定レート対比影響額
売上収益	<b>+9億円</b>
	製商品売上高 +3億円
	ロイヤルティ及び その他の営業収入 +5億円
売上原価・経費	売上原価 $\Delta$ 8億円 経費 $\Delta$ 6億円
営業利益	<b><math>\Delta</math>5億円</b>

実績/想定レート*	2016年 1-9月実績	2017年 期初想定	2017年 1-9月実績
1CHF	110.88円	106.00円	113.73円
1EUR	121.28円	122.00円	124.33円
1USD	108.68円	115.00円	111.92円
1SGD	79.25円	80.00円	80.52円

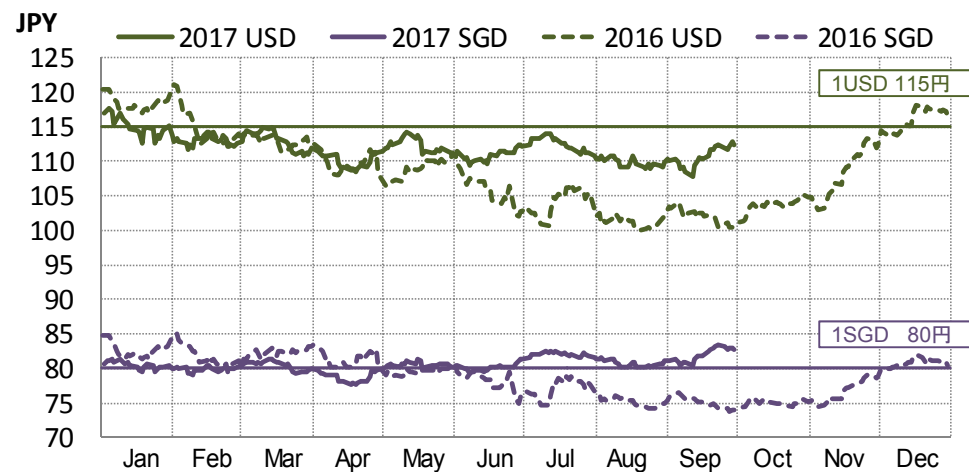
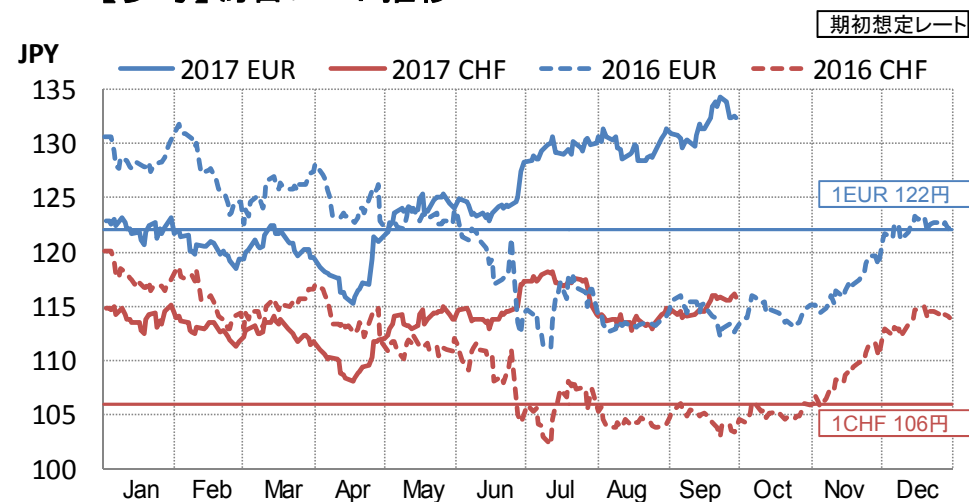
\*実績は期中市場平均

2017年第3四半期 連結決算概要

すべての革新は患者さんのために



## 【参考】為替レート推移



# 開発パイプラインの状況

中外製薬株式会社  
プロジェクト・ライフサイクルマネジメントユニット  
R&Dポートフォリオ部長  
広瀬 稔

2017.10.25

## 開発パイプラインの状況

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

# 開発パイプライン (1)

## (2017年10月25日現在)

	Phase I	Phase II	Phase III		Filed
がん	<b>CKI27 (国内 / 海外)</b> - 固形がん  <b>RG7596 / polatuzumab vedotin</b> - 非ホジキンリンパ腫  <b>RG7604 / taselisib</b> - 固形がん  <b>GC33 (RG7686) / codrituzumab</b> - 肝がん★  <b>ERY974 (海外)</b> - 固形がん  <b>RG7421 / cobimetinib</b> - 固形がん		<b>RG1273 / Perjeta</b> - 胃がん  <b>RG3502 / Kadcyla</b> - 乳がん (アジュバント)  <b>RG435 / Avastin</b> - 腎細胞がん  <b>RG7440 / ipatasertib</b> - 前立腺がん	<b>RG7446 / atezolizumab</b> - 非小細胞肺癌 (アジュバント) - 小細胞肺癌 - 尿路上皮がん - 筋層浸潤尿路上皮がん (アジュバント) - 腎細胞がん - 腎細胞がん(アジュバント) - 乳がん - 卵巣がん - 前立腺がん	<b>RG7446 / atezolizumab</b> - 非小細胞肺癌  <b>AF802 (RG7853) / Alecensa (海外)</b> - 非小細胞肺癌(1L)  <b>GA101 (RG7159) / obinutuzumab</b> - 濾胞性リンパ腫★  <b>RG1273 / Perjeta</b> - 乳がん (アジュバント) ★
骨・関節			<b>ED-71 / Edirrol (中国)</b> - 骨粗鬆症  <b>NRD101 / Suvenyl (中国)</b> - 変形性膝関節症 / 肩関節周囲炎		
腎	<b>EOS789 (国内 / 海外)</b> - 高リン血症				

各相の臨床試験は、原則として投与の開始をもって試験開始としています

オレンジ: 自社品

★: 2017/7/27からの変更点

★: 中外主導の国際共同治験

## 開発パイプラインの状況

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

# 開発パイプライン (2)

## (2017年10月25日現在)

	Phase I	Phase II	Phase III	Filed
自己免疫疾患	RG7845 - 関節リウマチ		MRA / Actemra - 全身性強皮症  SA237 (RG6168) / satralizumab - 視神経脊髄炎 ★	
神経疾患	RG7916 - 脊髄性筋萎縮症		RG1450 / gantenerumab - アルツハイマー病  RG7412 / crenezumab - アルツハイマー病	
その他	PCO371 (海外) - 副甲状腺機能低下症  RG7716 - 滲出型加齢黄斑変性 / 糖尿病黄斑浮腫 ★	RG3637 / レプリキズマブ - 特発性肺線維症  CIM331 / nemolizumab※ - 透析そう痒症  URC102 (韓国) - 痛風  SKY59 / RG6107 - 発作性夜間ヘモグロビン尿症 (PI/II)	ACE910 (RG6013) / エミシズマブ - 血友病A [非インヒビター]	ACE910 (RG6013) / エミシズマブ (国内 / 海外) - 血友病A [インヒビター]

各相の臨床試験は、原則として投与の開始をもって試験開始としています

※アトピー性皮膚炎は導出先にて開発（海外：Galderma社、国内：マルホ株式会社）

オレンジ: 自社品

★: 2017/7/27からの変更点

★: 中外主導の国際共同治験

開発パイプラインの状況

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュ グループ

# 開発の状況

自社品

## アクテムラ®

既存治療で効果不十分な高安動脈炎と巨細胞性動脈炎

2017年8月 承認（国内）

巨細胞性動脈炎

2017年9月 承認（欧州）

導入品

## RG7159 / オビヌツズマブ

CD20陽性のB細胞性濾胞性リンパ腫

2017年8月 承認申請（国内）

導入品

## パージェタ®

HER2陽性の乳癌における補助化学療法

2017年10月 承認申請（国内）

導入品

## RG7716（抗VEGF/Ang2バイスペシフィック抗体）

滲出型加齢黄斑変性/糖尿病黄斑浮腫

2017年9月 P1試験開始



開発パイプラインの状況

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュ グループ

## その他の進捗 (1)

自社品

### アクテムラ®

CAR-T細胞療法に伴うサイトカイン放出症候群

2017年8月 承認 (米国)

自社品

### アレセンサ®

ALK陽性非小細胞肺癌 (一次治療)

2017年10月 承認勧告 (欧州)

2017年8月 優先審査指定 (米国)

自社品

### ACE910 / エミシズマブ

血友病A (インヒビター保有)

迅速審査指定 (欧州)

2017年8月 優先審査指定 (米国)

開発パイプラインの状況

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュ グループ

## その他の進捗 (2)

自社品

**SKY59 (抗C5リサイクリング抗体)**  
発作性夜間ヘモグロビン尿症(PNH)  
2017年9月 オーフアン指定 (米国)

自社品

**CIM331 / nemolizumab**  
結節性痒疹  
2017年8月 P2試験開始 (海外: Galderma社)

導入品

**光線力学診断用剤「アラグリオ®顆粒剤分包1.5g」**  
経尿道的膀胱腫瘍切除術時における筋層非浸潤性膀胱癌の可視化  
2017年9月 承認

開発パイプラインの状況

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュ グループ

## 試験成績／論文掲載

導入品

### パージェタ®

HER2陽性の進行胃がん

国際共同P3(JACOB)試験 主要評価項目未達

ハーセプチン＋化学療法へのパージェタの上乗せにより、  
全生存期間の統計学的に有意な延長を認めず

自社品

### ERY974 (抗グリピカン3/CD3バイスペシフィック抗体)

2017年10月 非臨床の研究成果をScience Translational  
Medicine誌に掲載

# 滲出型加齢黄斑変性／糖尿病黄斑浮腫



Roche ロシュ グループ

## 滲出型加齢黄斑変性(wAMD)

- 日本における視覚障害の原因疾患第4位(黄斑変性)<sup>1)</sup>
- 異常な血管(新生血管)が網膜下から発生し、網膜が障害され視力が徐々に低下
- 日本人における有病率は、50歳以上の約1.5%<sup>2)</sup>

## 糖尿病黄斑浮腫(DME)

- 日本における視覚障害の原因疾患第2位である糖尿病網膜症に併発<sup>1)</sup>
- 網膜血管閉塞による虚血性変化や血管透過性亢進による黄斑浮腫
- 有病率は、糖尿病患者の約7.4%<sup>3)</sup>

1) 厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)平成28年度 分担研究報告書「視覚身体障害者認定の実態調査」

2) あたらしい眼科 2011; 28: 25-29.

3) Diabetes Care. 2012; 35: 556-64.



# RG7716と作用機序

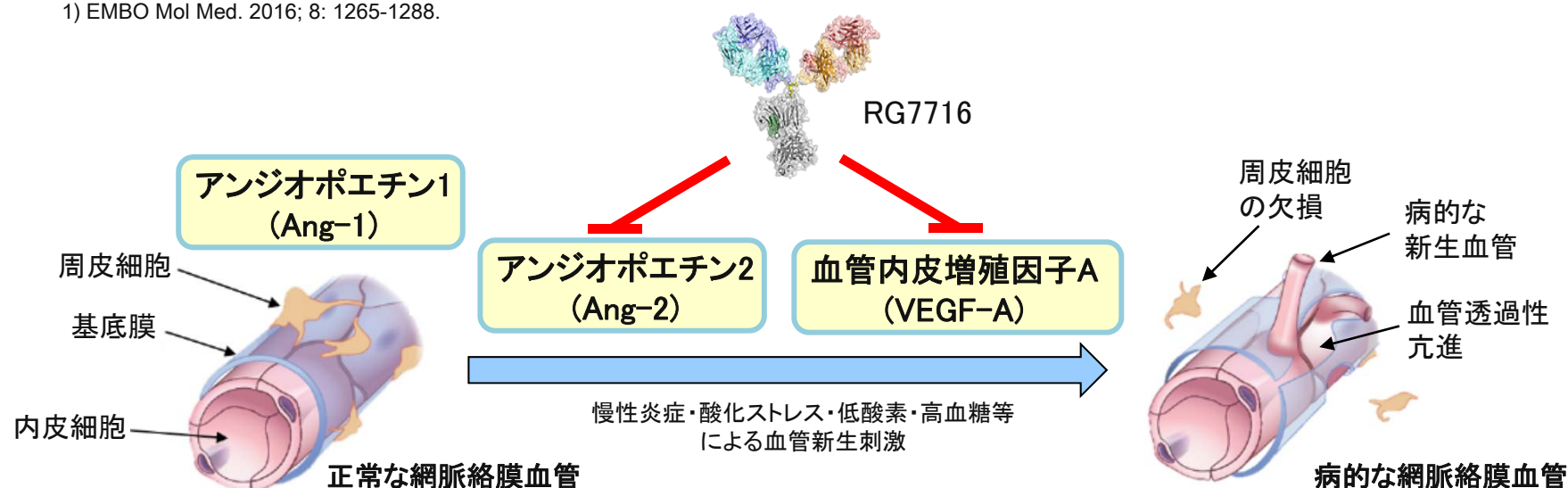
## RG7716

- 眼科領域初のヒト化バイスペシフィック抗体、VEGF-A及びAng-2に選択的に結合
- Fcドメインは、Fcγおよび胎児性Fc受容体へ結合できないように改変し、Fcγを介した血小板凝集作用 (*in vitro*) を除去し、全身暴露を低減することで安全性を改善<sup>1)</sup>

## 作用機序

- 新生血管形成や血管透過性亢進を誘導するVEGF-Aと、網脈絡膜血管構造を不安定化させ血管透過性亢進を誘導するAng-2(成熟血管安定化に寄与しているAng-1のアンタゴニスト)を同時に阻害

1) EMBO Mol Med. 2016; 8: 1265-1288.



滲出型加齢黄斑変性および糖尿病黄斑浮腫の患者さんにおいて、RG7716を硝子体内投与しVEGF-AとAng-2を同時に中和することにより、現在の標準治療である抗VEGF薬を上回る治療改善・持続効果が期待される

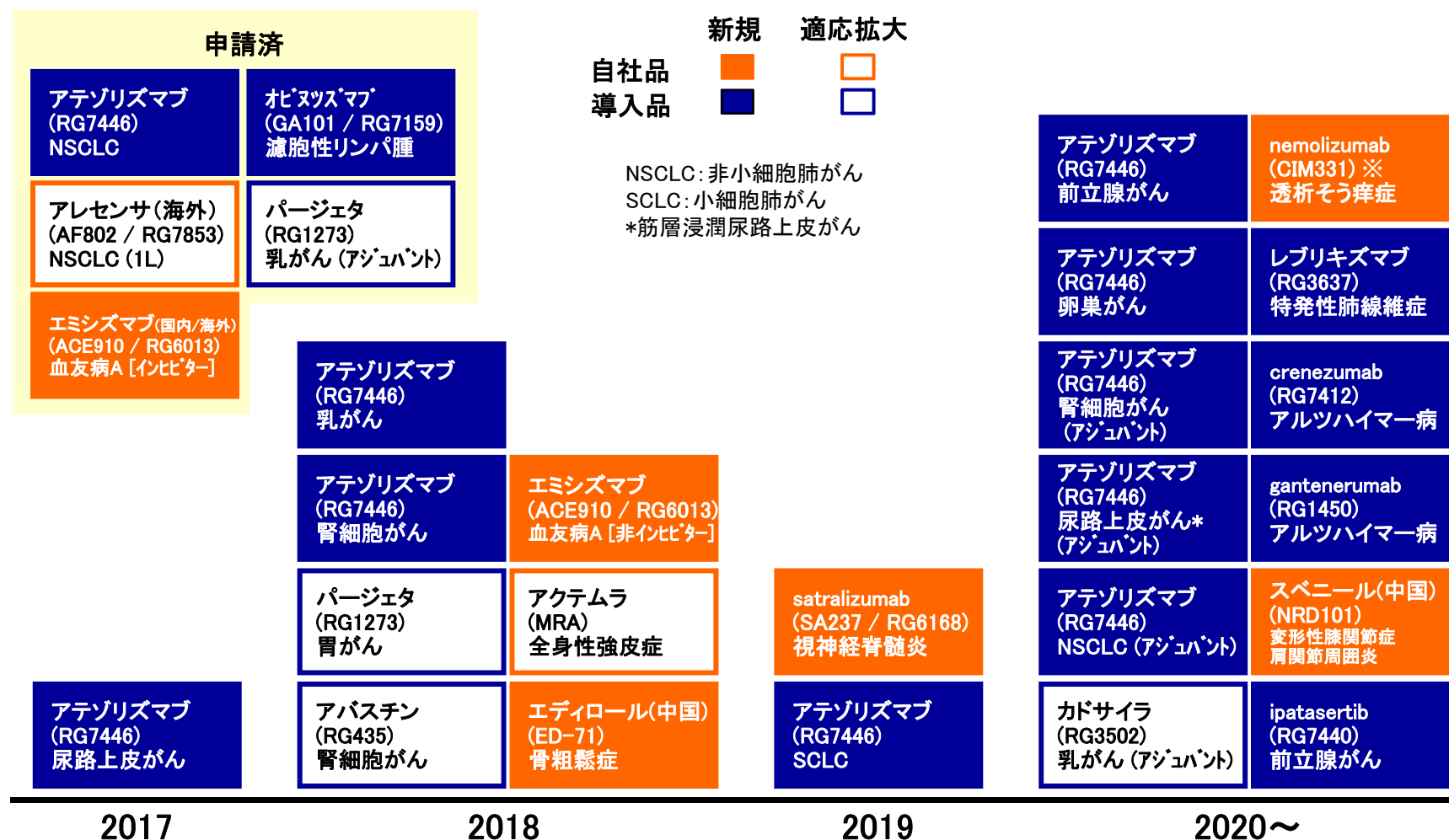
## 開発パイプラインの状況

すべての革新は患者さんのために



Roche ロシュグループ

# 今後の申請予定 (PoC取得済開発品・製品)



※アトピー性皮膚炎は導出先にて開発（海外: Galderma社、国内: マルホ株式会社）

# お問い合わせ先：広報IR部

報道関係者の皆様：  
メディアリレーションズグループ

Tel : 03-3273-0881

e-mail : [pr@chugai-pharm.co.jp](mailto:pr@chugai-pharm.co.jp)

担当：原田、荒木、吉村、三義、山田

投資家の皆様：  
インベスターリレーションズグループ

Tel : 03-3273-0554

e-mail : [ir@chugai-pharm.co.jp](mailto:ir@chugai-pharm.co.jp)

担当：笹井、櫻井、清水、島村